

2019年1月11日
環境社会配慮助言委員会委員長 原嶋 洋平
担当ワーキンググループ主査 村山 武彦

ケニア国モンバサ港ゲートブリッジ建設事業
(協力準備調査(有償))
ドラフトファイナルレポートに対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・日時：2018年12月21日(金) 14:00～17:36
- ・場所：JICA 本部 (1階 111会議室)
- ・ワーキンググループ委員：石田委員、久保田委員、作本委員、谷本委員、村山委員
(久保田委員はメール審議にて参加)
- ・議題：ケニア国モンバサ港ゲートブリッジ建設事業準備調査に係るドラフトファイナルレポート案についての助言案作成
- ・配付資料：
 - 1) Preparatory Survey for The Mombasa Gate Bridge Construction Project in The Republic of Kenya Draft Final Report
 - 2) Environmental and Social Impact Assessment Study Report for The Mombasa Gate Bridge Construction Project
 - 3) Resettlement Action Plan-RAP in The Mombasa Gate Bridge Construction Project
 - 4) ケニア国モンバサ港ゲートブリッジ建設事業スコーピング案助言対応表
 - 5) 【回答表】ケニア国モンバサ港ゲートブリッジ建設事業(協力準備調査(有償))スコーピング案
 - 6) 回答表
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン(2010年4月)

全体会合(第98回委員会)

- ・日時：2019年1月11日(金) 14:00～16:56
- ・場所：JICA 本部(1階 113会議室)

上記の会合にて助言を確定した。

助言

全体事項

1. O&M スタッフの訓練に関し、予算や人員の確保のための規定の策定とその順守のための方策、さらには点検や修理、事故への対応といった現場体験の充実を FR に記述すること。

環境配慮

2. 事業対象地域の一部における PM2.5 の数値は、米国 EPA の基準によれば、「健康によくない」レベルにあり、児童や教育施設への影響が懸念されるため、植樹帯や障壁等の適切かつ有効な対策を検討し、その結果を FR に記述すること。
3. モンバサで廃棄物の約 3 分の 1 が不法投棄されている現況を踏まえ、本事業から生じる廃棄物に対して適切な処理がなされるかどうかをモニタリングで確認する旨を FR に記述すること。

社会配慮

4. 学校や教会を含む Common Property Resources (CPRs) の補償方策の内容を明確にし、その内容を FR に記述すること。
5. 橋梁建設後のフェリー需要の程度とフェリー営業の持続性を確認した上で、フェリーを利用する人々、周辺で露天商を営む女性、フェリーを利用する障がい者への影響と緩和策を検討し、その結果を FR に記述すること。
6. 漁業への負の影響について、対象者、場所、漁業種類、規模等を整理し、その対策を検討した結果を FR に記述すること。
7. 詳細設計において工事期間中に発生する水揚げ場の仮移転候補地を検討するにあたり、漁民の利便性を十分に考慮することを FR に記述すること。
8. Mweza クリークは季節的に重要な漁場となりかつ海洋生物の繁殖の場でもあることから漁民が当該クリーク内での安定した操業と生態系の保全を重要視している。そのため詳細設計段階における調査、施工工事、供与後のモニタリング段階において漁業規制や工事に関連する情報および湾のモニタリング結果を漁民に対してタイムリーに提供することが必要である。そのことを FR に記述すること。

以上